

# 『Cisco Jabber Softphone のリリースノート』 : VDI-Windows リリース 12.6

初版 : 2019 年 4 月 10 日

最終更新 : 2019 年 10 月 11 日

## 12.6 のビルド番号

Version	ビルド番号
Cisco JVDI エージェント 12.6	12.6.0.281218
Cisco JVDI クライアント 12.6	12.6.0.281218
Cisco JVDI エージェント 12.6(1)	12.6.1.34405
Cisco JVDI クライアント 12.6(1)	12.6.1.34405

## VDI 版 Cisco Jabber Softphone Copyright

Copyright © 2018-2019 シスコまたはその提携事業体。All Rights Reserved.

## VDI 版 Cisco Jabber Softphone-Windows 12.6(2) の最新情報

Cisco Jabber のサポート

## VDI 版 Cisco Jabber Softphone-Windows 12.6(1) の最新情報

Cisco Jabber のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 次の新しい Cisco Jabber 機能をサポートします。

- Cisco ヘッドセットのサポート
  - Cisco ヘッドセット バージョンの表示
  - Cisco ヘッドセットのデフォルト設定へのリセット
- キーパッドサポートの機能拡張

Cisco Jabber の新しい機能の詳細については、『*Release Notes For Windows 版 Cisco Jabber*』 (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-release-notes-list.html>) を参照してください。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone でサポートされていない Cisco Jabber 機能のリストについては、[Jabber の機能 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

## VDI 版 Cisco Jabber Softphone-Windows 12.6 の最新情報

### Binary Floor Control Protocol Support

VDI 用の Jabber Softphone は、Binary Floor Control Protocol (BFCP) 画面共有をサポートしています。Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ はこの機能を制御し、BFCP 画面共有中に送信される BFCP パケットを処理します。BFCP 画面共有中に、シンクライアント画面が共有されます。

リモート スクリーン制御はこの機能でサポートされていません。

### Cisco Jabber のサポート

このリリースでは、Windows 版 Cisco Jabber リリース 12.6 のサポートが追加されています。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 次の新しい Cisco Jabber 機能をサポートします。

- MRA エクスプレス Sway での ActiveControl のサポート
- 永続的なチャット ルームのメンバーを非表示にする
- ハイ コントラスト モード
- Jabber と Webex チームの相互運用性
- Jabber チーム メッセージング モード
- キーパッドのサポート
- ビデオ デバイス対応会議のミーティング制御
- 相互運用性ユーザのためのオフライン メッセージング
- Office 365 へのチャット履歴の保存
- スпам防御
- Cisco ヘッドセットのサポート
  - Cisco ヘッドセットの管理
  - Cisco ヘッドセットの新しいオーディオ コントロール
- でサポートされている特殊文字
- UDS フェールオーバー

Cisco Jabber の新しい機能の詳細については、『*Release Notes For Windows 版 Cisco Jabber*』 () を参照してください<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-release-notes-list.html>。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone でサポートされていない Cisco Jabber 機能のリストについては、[Jabber の機能 \(6 ページ\)](#) を参照してください。

## 接続ステータス

Windows 版 Cisco Jabber の [接続ステータス (Connection Status)] ウィンドウには、VDI 用の Cisco Jabber Softphone の情報が含まれています。LED が緑で点灯すれば、正常に接続されています。[Jvdi Details] をクリックすると、詳細情報を表示できます。

## Cisco Meeting Server 会議のミーティング制御

Jabber Softphone for VDI ユーザは、ActiveControl を使用して Cisco Meeting Server 上の会議に参加できます。ActiveControl は、次の管理機能を含む拡張会議機能を提供します。

- ビデオ レイアウトを選択します。
- コールを録音します。
- 自分やその他の参加者をミュートおよびミュート解除します。
- 会議コールをロックします。

Cisco Meeting Server 2.3 以降で ActiveControl を設定し Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 10.5 以降が必要です。

## Expressway for Cisco Mobile and Remote Access のサポート

Jabber Softphone for VDI では、企業ネットワークに接続するために、Mobile & Remote Access (MRA) の使用をサポートしています。Softphone for VDI Jabber は、次の製品をサポートしています。

- Citrix NetScaler ゲートウェイ
- VMware ユニファイドアクセス ゲートウェイ

サポートされているバージョンについては、ご使用のバージョンの Windows 版 Cisco Jabber のマニュアルを参照してください。



**注目** VCS-E バージョン X 8.11.2 を推奨します。以前のバージョンでは CTI の初期参加操作はサポートされていないため、複数のコールを 1 つの会議にマージすることはできません。

詳細については、リリースの『*Mobile and Remote Access via Cisco Expressway Deployment Guide*』を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/expressway-series/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

## バージョンサポート戦略

Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent のバージョンは常に一致している必要があります。ただし、JVDI クライアントのバージョンは同じであるか、または最大 2 つのリリース (N-1 のサポート) にすることができます。たとえば、次のバージョンの組み合わせがサポートされています。

- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.6、Cisco JVDI Agent Release 12.6 および Cisco JVDI Client Release 12.6
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.6、Cisco JVDI Agent Release 12.6 および Cisco JVDI Client Release 12.5
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.6、Cisco JVDI Agent Release 12.6 および Cisco JVDI Client Release 12.1



**重要** 以前の JVDI クライアント リリースの制限事項と制約事項が適用されます。使用可能な機能は、以前のリリースで使用可能な機能に限定されています。詳細については、以前のリリースの『*Release Notes for Cisco Jabber softphone*』 (Windows) を参照してください。たとえば、JVDI クライアントリリースが 12.1 の場合は、リリース 12.1 のリリース ノート ドキュメントを参照してください。

## Windows 64 ビット サポート

Windows 64 ビット オペレーティングシステムを実行しているシンクライアントでは、64 ビットバージョンの VDI 版 Cisco Jabber Softphone をインストールできます。

VDI 用の Jabber Softphone の 32 ビットバージョンをインストールする予定の場合は、『*deployment guide*』の「*VMware Installation — Required Setting*」の項を参照してください。

## 制限事項

### コール制御アクセサリ

アクセサリコール制御(通話量の調整、電話の応答または通話の終了、音声のミュート)は、互換性のあるヘッドセットでサポートされています。他の一部のヘッドセットは基本的な機能を提供しますが、アクセサリ VDI 版 Cisco Jabber Softphone コール制御機能は使用できません。互換性のあるヘッドセットとその他のアクセサリの完全なリストについては、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) を参照してください。

### コール保持

「存続可能性」とも呼ばれるコールの保持は、VDI 版 Cisco Jabber SOFTPHONE ではサポートされていません。ネットワークの中断が発生し、Jabber がコール保持モードになると、VDI ユーザに対してコールがドロップされます。

## 接続方法の変更

JVDI クライアントをインストールする前に、必ず Citrix または VMware をインストールする必要があります。したがって、次のいずれかの変更を行った後に、JVDI クライアントを再インストールする必要があります。

- Citrix または VMware のアップグレード
- Citrix から VMware、または VMware から Citrix への切り替え

## Ciscoユニファイドコミュニケーションマネージャのフェールオーバー

ある Ciscoユニファイドコミュニケーションマネージャから別のへのフェールオーバーが発生した場合、Cisco JabberWindows では電話機の機能が維持されます。ただし、VDI 版 Cisco Jabber Softphone を使用すると、電話機の機能が失われます。この問題は、CTI フェールオーバーが仮想環境でサポートされていないために発生します。

## Citrix 仮想アプリとデスクトップ サポート

Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップは、以前は XenApp および XenDesktop と呼ばれていました。

Citrix XenApp 公開済みアプリケーションは、フルスクリーンモードではサポートされていません。フルスクリーンモードは、シンクライアント上の Citrix 受信者接続センターで無効にできます。

Citrix XenApp で公開されたアプリケーションはフルスクリーンモードではサポートされていません。サポートされている次のソフトウェアの組み合わせではサポートされていません。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース 12.5
- Cisco JVDI エージェント リリース 12.5
- Cisco JVDI クライアント リリース 12.1

Citrix 仮想アプリケーションは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone Release 12.1 ではサポートされていません。

フルスクリーンモードは、シンクライアント上の Citrix 受信者接続センターで無効にできません。

## Citrix XenApp サポート

Citrix XenApp 公開済みアプリケーションは、フルスクリーンモードではサポートされていません。フルスクリーンモードは、シンクライアント上の Citrix 受信者 > Connection Center で無効にできます。

## Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX

VDI 版 Cisco Jabber Softphone カメラの HDX プラグアンドプレイはサポートされていません。Citrix カメラのインタラクションに HDX Webcam を使用することを推奨します。

## Jabber の機能

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.6 では、次の点を除き、Windows リリース 12.6 のすべての機能でCisco Jabberがサポートされています。

- [ハブ (Hub) ]メニューからのオーディオ デバイスの選択
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)
- [電話の会話 (Call Conversation) ]ウィンドウの[デバイス選択 (Device Selection) ]メニュー
- 遠端カメラ制御 (FECC)
- 連邦情報処理標準 140-2 (FIPS 140-2) および情報保証 (IA) のコンプライアンス
- ビデオ解像度の改善 (Windows リリース 12.6 の Jabber で新規)
- Jabber 間コール
- Jabber デスク フォン ビデオ (シンクライアントがユーザのデスク フォンに接続している場合にデスクトップ上に表示されるビデオ)
- Kerberos および共通アクセス カード (CAC) とシングルサインオン (SSO)
- マルチライン  
複数回線アカウントの最初の回線のみが利用可能です。2 番目のコールが着信した場合、最初の回線が使用されている間、2 番目の回線の呼び出し音が鳴りますが、着信コールの通知は表示されません。
- PreferP2PDesktopShare (Jabber 設定ファイルにある、ビデオ共有を介して人物間の画面共有を優先順位付けするための設定パラメータ)
- ワイヤレス画面共有 (Windows リリース 12.6 の Jabber で新規)

## リモート ディスプレイ プロトコルのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次のプロトコルのみをサポートしています。

- Citrix ICA
- VMware: PC を介した IP (PCoIP) および VMware ブラスト

## SIP プロファイル

Cisco ユニファイドクライアント サービスフレームワーク (CSF) デバイスを作成する場合は、デバイスの**SIP プロファイル**を指定します。SIP プロファイルでは、登録タイマーおよびキープアライブ タイマー、メディア ポート、サイレント制御など、電話機の特定の SIP 情報を提供します。



**重要** セキュア電話プロファイルを選択した場合は、Certificate Authority Proxy Function (capf) 認証モードをNull 文字列で指定しないでください。この設定は、CiscoユニファイドコミュニケーションマネージャでのJabber登録が失敗するため、VDI 版 Cisco Jabber Softphone との使用はサポートされていません。

## VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていない

USB カメラリダイレクションは、VMware ビューではサポートされていません。

## パフォーマンスと動作に関するメモ

### カメラのホットスワップ

VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、通話の開始時にビデオの品質が設定されます。サポートされている HD カメラのいずれかで通話を開始してから、標準解像度のカメラに切り替えると、ビデオの品質が影響を受けます。カメラの切り替えは、通話と通話の間で行うことをお勧めします。

### Echo Cancellation

エコー キャンセレーションは、音声コールに対してのみ有効になります。

### Jabra ファームウェア

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。詳細については、<http://www.jabra.com>を参照してください。

## 不具合

### バグの重大度レベル

既知の障害またはバグには、障害のプライオリティを示す重大度レベルが設定されています。これらのリリース ノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重要な重大度レベル 3 のバグ。
- シビラティ 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重大度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。

重大度	説明
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。  ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

## バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、 <https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- ステップ 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- ステップ 3** 特定の問題の情報を検索するには、**[検索 (Search for)]** フィールドにバグ ID 番号を入力して **[入力 (Enter)]** を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
- 

### リリース 12.6 (2) で未解決の問題

#### リリース 12.6(2) で解決済みの問題

#### リリース 12.6(1) で未解決の問題

このメンテナンス リリースに未解決の問題(バグ)はありません。

#### リリース 12.6(1) で解決済みの問題

次の表が、このメンテナンス リリースで修正される問題 (バグ) の注意事項です。



表 1: VDI 版 Cisco Jabber Softphone の解決済みの警告: Windows Release 12.6 (1)

警告 ID 番号	重大度	説明
<a href="#">CSCvp53311</a>	2	JVDI ユーザは、webex で共有しているときに、fat クライアントビデオを表示できません。ビデオが黒くなりません
<a href="#">CSCvp64224</a>	2	時間内に転送されない DTMF の番号 (50 ミリ秒以内)
<a href="#">CSCvk25632</a>	3	Jabber 前のコールからのビデオのほんの一瞬が見られます
<a href="#">CSCvp53045</a>	3	VDI のリセット後に JVDI が動作しません
<a href="#">CSCvq00090</a>	3	「すべてのデバイス」設定が動かない場合は呼出音を出します

### リリース 12.6 の終了済の警告

このリリースに終了済の警告 (バグ) はありません。

### リリース 12.6 で未解決の問題

このリリースに未解決の問題はありません。

### リリース 12.6 で解決済みの問題

次の表が、このリリースで修正される問題 (バグ) の注意事項です。

表 2: VDI 版 Cisco Jabber Softphone の解決済みの警告: Windows リリース 12.6

不具合 ID	Severity	Heading
<a href="#">CSCvn31572</a>	3	Jabber softphone が仮想環境に登録されていません
<a href="#">CSCvn73837</a>	3	ヘッドセットの取り外し後の JVDI 12.1. X ボリュームの変更
<a href="#">CSCvo11181</a>	3	J4W: ネットワーク変更の登録を切断します。
<a href="#">CSCvo31711</a>	3	保存された呼出音の音量は有効になりません
<a href="#">CSCvo33026</a>	3	コール中の VMWare VDI クラッシュ時の Jabber 12.5
<a href="#">CSCvo41918</a>	3	Citrix パブリッシュされたデスクトップと公開されたアプリケーションを区別するために、VXME が誤った API を呼び出す Jabber
<a href="#">CSCvo51948</a>	3	Windows の Jabber の VXME モードの検証プロセスが正しくありません
<a href="#">CSCvo61811</a>	3	Jabber ソフトフォンが一定時間アイドル状態になった後に登録されません

---

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.